

500人育成事業が終了して3年。新規会員が望めないなかで先細りは確実である一方、役員間の結束は強まり、淡路青少年本部事業の活動で一定の評価を得ており、お陰やご縁を頂きながら、謙虚にそして大局的に向かい、細々ながらお手伝いができれば幸いである。自己満足かもしれないが、肯定感・健健康とある。



## 12月7日 成ヶ島クリーン作戦

短い人生、伴侶がいる家族の暮らしがあればと思わない人はいない。そんな幸せのお裾分けができるらしいなと思う地域のおばちゃん・おじちゃんであります。私たちの出番ももう少し令和七年度も二回の「縁結び交流会」が予定されている。一步前に踏み出そうというひとをお待ちしています。

（2）豊かな美しい淡路をめざす各種の住民運動やボランティア活動の推進

（3）その他、この会の目的を達成するために必要な活動

とある。

（1）会員相互の親睦及び情報交換

（2）豊かな美しい淡路をめざす各種の住民運動やボランティア活動の推進

（3）その他、この会の目的を達成するためには、県民運動の推進に寄与する。

### 第4条活動

リスタート  
Restart

や充足感が得られる限り、前に踏み出し出番を作つて行きたい。

活動の主なものは、淡路青少年本部（子どもたちと関わる活動・会議・縁結び交流会）、環境活動（海岸清掃等）、研鑽（健康づくり、他団体との交流・地域や地域の歴史の学習）、地域づくり活動団体やイベントの支援など。

定期的に開催される本部役員会で、会員の関連する事業のサポートの可・不可を決めていくので、もしこれに該当する事業やイベントの情報をそして企画や立案から参画させて頂ければ協働や連携のカタチも考えられるのではないか。 会員の皆様の前向きな力添えがますます必要となる当会です

お隣りの国・韓国などではないが、出生率が低下し、その打開策は見いだせていない。問題を若者だけにしてはいけない。高齢化・人口減少は地域の活性や元気を萎びさせる寂しく、厳しい将来である。

結婚できない、またしない男女が増えている。価値観や制度や経済だけの觀点ではない。以前は「仲人さん」と云つてご縁を紡ぐ人がいた。釣書を持つて、適齢期のお家を巡つて、お相手をお薦めしていた。世間の見守り役としての機能を果たしていた。現在では「放つておいてくれ」と言われそうだが、そんなお節介が普通であつたし暗黙の雰囲気でもあつた。煩わしく思う方もいるかも知れないが、気にかけてくれるうちが花なのである。

お節介やき

出会える好  
奇の目を輝  
かせて、前  
に歩んでい  
きたい。



前列左から2番目が仲野さん

## 本部長表彰

6月21日、淡路青少年本部会議・淡路スクラム会議に引き続く受賞式で当会役員、仲野知子さんが受賞。仲野知子さんは柔道整復師を稼業として活躍する傍ら、当会や青少年本部活動に積極的にご参加頂き、盛り上げて頂きました、何に対しても物怖じせず、云つたことは確実にきめる心強い存在です。地域ではペタング競技に熱心に取り組み、優秀な成績も收められました。「食通」でもあり、色々な場所を紹介頂く頼もしいお姉さんがピッタリです。いつまでも頑張ってほしい。



5月18日 通常総会

K

U

N

I

U

M

I

## 5月 通常総会

於・安平演公会堂

囲碁ボール。  
うまく行かないことが多い。  
偶々もある。



8月  
親子体験トンネル見学会  
於・洲本市宇山・潮トンネル



令和6年度  
**ゆめみ**

8月

## 主張大会 淡路青少年のつどい

於・洲本市・市民交流センター

謙虚に向き合えるひととき。  
頑張りに拍手。そして感謝。



入賞者の皆さん



於・鳴門・ドイツ村と  
ドイツ人俘虜収容所跡地

10月  
研修会



12月  
こども会議  
12月 淡路MIRAI

於・南あわじ市阿万エモラボ



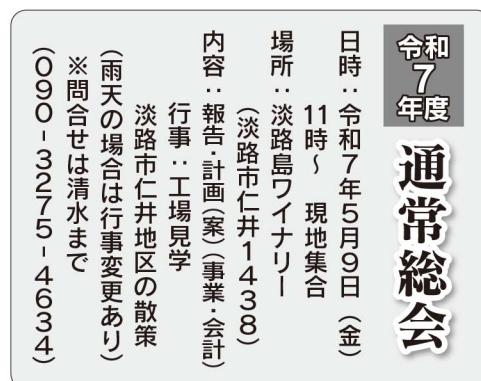
11月  
淡路青少年のつどい  
歩こう大会

於・洲本市海岸通・大浜公園



10月  
こうのとり大使  
縁結び交流会

於・洲本総合庁舎



令和  
7  
年度

## 通常総会

日時・令和7年5月9日(金)

11時～現地集合  
場所・淡路島ワイナリー

(淡路市仁井1438)  
内容・報告・計画(案)・事業・会計  
行事・工場見学  
淡路市仁井地区の散策  
(雨天の場合は行事変更あり)  
※問合せは清水まで  
(090-3275-4634)



12月  
クリスマスイベント  
12月 クリスマスイベント

於・南あわじ市阿万



12月  
成ヶ島クリーン作戦

於・洲本市由良成ヶ島

今年も災害が始まった。少雨。一方で豪雪・山林火災。それでも我が家家の梅は咲き、鶯が枝々を飛び交っている。季節は正直者で嬉しいが、地球温暖化・海洋汚染が二つの点で懸念されている。環境破壊防止対策の遅れとパリ協定の脱退国のエゴである。国連事務総長は「地球沸騰化の序曲」であると語っている。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルの残虐行為の落とし所が見通せない。

悲喜交々の時節、卯月。数多の憂きことを真正面に受けたは身が持たない。しかし、横目で流し暮らしてばかりではいけない。子どもたちの将来を考えれば私達の責任である。

老体に軽く鞭を当て、出番と時間があれば自分と・誰かのために働く。これが私の納得。

令和6年度当会の活動を振り返る本紙です。これからも前向きで好奇心旺盛にチャレンジしたい、しかもできる範囲内で。

会員の皆様にはいつまでも健康で穏やかにお過ごし頂き、お目に掛けください。もし会えれば「あんなこと也有ったね」と懐かしく語ってほしい。当会はそこにしか求められないのも実体である。

今後も変わらずご理解、ご支 握頂きますよう！ (T.S)

編集後記